



ロボコン2016近畿地区大会に出場して

Aチームリーダー 電子制御工学科4年 濱口 翔大

Bチームリーダー 電気工学科3年 樽井 天

10月16日、神戸市立体育館にて行われた高専ロボコン2016近畿地区大会に、私たちはAチーム「△(デルタ)」、Bチーム「朱雀モン」の2チームで出場しました。

本年度のルールは、フィールドに用意されたボックスを使用し、様々な課題をクリアした後、ボックスを積み上げ高さを競う競技です。5月から約半年間、試行錯誤を繰り返す中、試作した機構が想定通り動かず、辛く苦しい日々が続いた時期もありました。しかし、A・B両チーム共に優勝を目指した結果、自信を持てるロボットを作り上げることができました。

近畿地区大会では両チーム共に健闘し、ブロックを積めない高専もある中で、Aチームはボックスを2m40cm積み上げて優勝し全国大会出場、Bチームは1m20cm積み上げてベスト4という結果になりました。このような結果を残せたことを大変嬉しく思います。

全国大会では、昨年の初優勝に続き二連覇を目指すべく、さらなる高みを目指してメンバーともども日々研鑽を怠らず活動していく



ロボコンメンバー・OBたちと一緒に

所存です。

最後に、この場をお借りしまして、私達を支えてくださった先生方、事務職員の方々、そして最後まで応援して下さった方々に心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

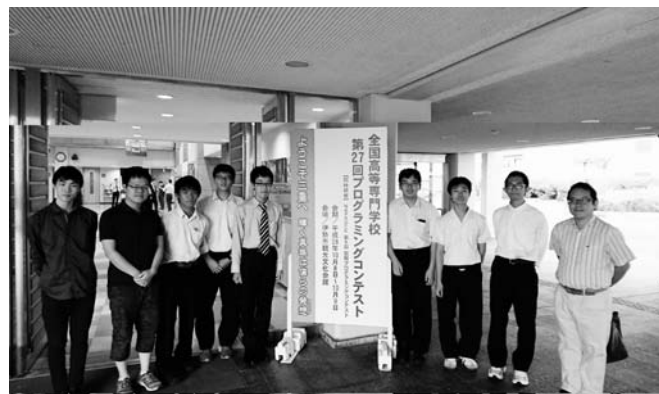


プログラミング・コンテストに参加して

情報工学科3年 森田 悟大

三重県伊勢市にて、10月8日(土)・9日(日)に開催された第27回全国高等専門学校プログラミングコンテストの競技部門に、私と、萬代裕輔くん(電子制御工学科3年)、三野天羽くん(情報工学科2年)から成るチームで出場しました。今年度は一回戦を4位で突破しましたが、準決勝(二回戦)では7位に終わりました。

今年度の問題は、一枚の板から切り抜かれた図形を復元するというもので、実際に手で組み上げたものを提出しなければならないため、プログラミングの技術だけでなく、どこまでをプログラムに任せるか、という戦略も問われました。私達は、プログラムが生成した設計書を印刷して、それをもとに組み上げるという作戦をとりました。プログラムの精度に課題が残り、決勝戦まで勝ち上がることはできませんでしたが、自分たちの



やりたいことができ、会場からも評価をいただくことができました。

来年度は決勝戦出場、優勝をしっかりと見据えて努力していきたいと思っています。



第50回高専祭

第50回高専祭実行委員長

電気工学科4年 嶋本 健人

11月5日(土)、6日(日)に第50回高専祭を開催させていただきました。

毎年雨が降るというジンクスのあった高専祭ですが、テーマであった「開け最先端50年の空」にふさわしい

晴天に恵まれ、上空では戦闘機ブルーインパルスが飛行するなど、まさに「神ってる」高専祭だったのではないかと考えています。

昨年より出店数の増加した模擬店や、中学生を対象にした受験相談会や様々な科展、吹奏楽部や合唱同好会、軽音楽部のステージが今年の高専祭を大いに盛り上げてくれました。

さらに、高専祭の50周年を記念して、3期生のOBをお招きし、講演会を行いました。



高専祭実行委員会メンバーたち

実行委員会のみならず、学生一人一人がいろんなことに挑戦し、キラキラと輝くことのできた高専祭にすることができました。支えてくださった方々や精一杯楽しんでくれた学生たち、そして何より約2600人もの来場者の皆様、本当にありがとうございました。

高専祭のこれからの50年にご期待ください。

